

## 編集 後記

温暖化のせいかな、これまで入学式に咲いていた大学の桜は卒業式の頃咲くようになりました。和菓子屋さんに行くと桜餅が並んでいます。もう春ですね。

第71巻第3号では総説1編，原著1編，資料2編の計4編を掲載しています。片野田らは，たばこハームリダクションが公衆衛生施策として成立するかどうかを検討し，国際機関と海外の保健当局の方針をまとめています。たばこハームリダクションとは，「たばことニコチンの使用を完全に排除することなく，害を最小限に抑え，死亡と疾患を減少させること」とされます。著者は，これが成立するための要件として，①代替たばこ製品の健康リスクが従来型たばこ製品より低いこと，②代替たばこ製品の使用により，従来型たばこをやめることができるということ，③代替たばこ製品によって新たな公衆衛生上の懸念が生じない，または懸念は小さいこと，④たばこ産業から独立して保健当局がたばこ規制をできることを挙げています。

種田らは，全国の272市町村での身体活動促進に関する施策の策定と実施状況を報告しました。調査は郵送によります。市町村の保健部門，スポーツの部門，教育の部門，都市計画の部門，交通の部門，環境の部門に身体活動促進に関する行動計画（施策）の策定および実施の状況等について問いました。結果は，保健部門の86%，スポーツ部門の92%，教育部門の51%，都市計画部門の56%，交通部門の36%，環境部門の27%で該当する施策が策定されていたとしています。

赤松らは，新型コロナにより保健師が増員される前の全国データを用いて，保健師数と精神保健福祉および難病相談の訪問指導の数の関連について報告しています。結果は，保健師数が大きいほど訪問指導は多いということでした。相良らは，介護老人保健施設で高齢の介護助手が雇用されている状況を報告しています。調査はFAXと郵送によります。高齢の介護助手を雇用している割合は32%でした。雇用人数は大規模な施設ほど多いということです。

最近の果物はブランド化されていて，何でも甘い。酸っぱいだけのみかん，甘くないはずれのいちご，すかすかのバナナ。昔はそういうものがありました。今は出荷前に糖度で選別され，美味しいものしか手元に届きません。昨日冷蔵庫の中で甘みが抜けてしまったりんごを口にしました。はずれの果物にとってもノスタルジーを感じます。

(横道洋司)

## 次号予告 (第71巻・第4号)

### 総説

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成に向けた公約の現状と課題……………渡部明人，他

### 原著

幼児の健康・食行動・生活習慣への保護者の心配事とその関連要因：食育への展開を視野に……………堀江早喜，他  
保育所に通う幼児における家庭の経済状況と食品群別摂取量の関連……………酒井亜月，他

### 資料

特定健康診査の標準的な質問票の活用に関する実態調査……………杉田由加里，他